

迎春

新年のあいさつ

鬼北町長 松浦 甚一

新年あけましておめでとうでございます。皆様にはご家族お揃いでお元気に清々しい新年を迎えられたことと存じ心からお慶び申し上げます。

昨年の石油価格の暴騰、そしてアメリカのサブプライムローン問題に端を発した経済危機は、ヨーロッパ、アジア、そして日本へと飛び火し、株価暴落、ドル安円高等による金融不安により、今まで経済発展を支えてきた自動車・電器・情報機器産業をはじめとする産業界全体が急激な減収減益に陥り、倒産する企業も出るなど経済不安、社会不安が拡大する中で新年を迎えることになり、大変心配をいたしております。加えて政局不安定、衆議院の解散問題もあって、迅速、適切な経済・社会対策が取れない国政にも不安が残ります。しかし、政府は全力を尽くして予算編成に取り組んでおり、実効性のある、しかも地方への配慮された政策予算が打ち出されることを期待したいと思っております。

鬼北町も誕生して5年目に入りました。振り返って月日の経つことの早さに驚き、また、その間にお寄せいただいた町民の皆様のご理解とご協力に、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでございます。区長組長会をはじめ町政座談会等機会あるごとにお

話をし、お知らせをいたしておりましたが、「三位一体の改革」が実施されて以来、大変厳しい行財政運営を迫られており、県の財政難の影響もあって、新町建設計画に取り上げた計画のうち、53%しか実施ができておりません。しかしながら、重要な政策である福祉、医療はもちろんのこと、北宇和病院の運営、アルコール跡地の宅地整備と販売、農林・商工業の活性化等、重点事業についてはしっかりと取り組み、その実を挙げていくことを報告させていただきます。また、ご心配をお掛けしております松野町との合併問題は、昨年4月に合併協議会を発足させ、現在までに9回の協議会を開き、真剣に協議いただき、多くの案件について確認決定となっております。また、重要案件もいくつか残っておりますが、私としては、お互いが信頼と熱意を持って当たれば合意はできることだと考えております。ただ、私は2月12日の任期満了をもって退任することを決意いたしております。最後までお手伝いをするのができません。お許しをいただきたいと思っております。

最後に、17年の長きにわたってご指導、ご協力をいただきました町民の皆様にご心から感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございます。合わせて平成21年が鬼北町にとっても皆様にとりまして良い年であり、ますますご祈念申し上げたいと思っております。